# 弊会職員の Microsoft 365 メールアカウントへの不正アクセスに関するご報告

２０２６．９．１４
日本化粧品工業会

8 月 12 日 13 時頃、弊会職員を装った第三者により、件名「日本化粧品工業連合会－ご案内及びご提案【ご回答のお願い】」のフィッシングメールが大量に送付される事案が発生いたしました。本件について、弊会が外部専門機関に依頼した調査の結果概要を以下のとおりご報告いたします。

会員の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

## １．事実関係

・弊会職員が利用する Microsoft 365 アカウント 1 件が第三者に不正アクセスされ、8 月 12 日に当該アカウントになりすました大量のフィッシングメール 4,026 通が送信されました。
・8 月 4 日及び 1 2 日に、当該アカウントのメールボックスに保管されていた 475 通のメール及び添付ファイルが第三者の環境へ持ち出された可能性があることを確認しました。
・8 月 12 日には、不正活動が当該職員に気づかれないよう、受信メールを自動的に削除・既読化する設定が作成されていたことを確認しました。

## ２．侵入経路

・侵入の起点は、本年 7 月 30 日に外部から受信したフィッシングメールになります。当該職員がこのメールの添付ファイルから、正規の Microsoft サインイン画面に入り、第三者が用意したデバイスコードを承認した結果、当該メールボックスへアクセス可能な状態となったものと考えられます。

なお、不正アクセスが確認されたのは、上記の Microsoft 365 メールアカウント及びメールボックスのみであり、事務所内の基幹サーバー、会員情報等を管理するシステム、委員会資料を管理するシステム、OneDrive 及び SharePoint への不正アクセスは確認されておりません。

## ３．漏洩した可能性のある情報

・当該アカウントの侵害に伴い、第三者の IP アドレスから当該メールボックスへのアクセスが確認されました。このため、メール本文及び添付ファイルの一部（475 通）が第三者の環境へ持ち出された可能性があります。
・該当メールには、一部の関係者の皆様のお名前、会社名、住所、所属部署、役職、メールアドレス、電話番号及びファックス番号の個人情報が含まれている可能性があります。
・現時点の調査では、上記以外の情報の持ち出しを示す痕跡は確認されておりません。

４．二次被害

・現時点において、本件に起因する二次被害の報告は受けておりません。

５．弊会の対応

（実施済のもの）

・8 月 12 日に弊会ホームページへ注意喚起を掲載するとともに、同日及び 8 月 13 日に、フィッシングメールの送付先を含む会員及び関係者の皆様へメールを送付し、件名「日本化粧品工業連合会－ご案内及びご提案【ご回答のお願い】」のメールの添付ファイルを開かないよう注意喚起を行いました。

・8 月 12 日、侵害されたアカウントについて、パスワードの再設定及び認証情報（トークン）の一括無効化を実施しました。これ以降、当該アカウントに対する新たな不正ログインは確認されておりません。

・外部専門機関の調査により上記の事実関係が確認されたことから、個人情報保護法に基づき本件不正アクセスについて個人情報保護委員会に報告しました。

（これから実施するもの）

・漏洩した可能性のあるメールについては、当該メールアドレスあてに個別にご連絡いたします。

・外部専門機関の提案を踏まえ、認証設定の見直し、監視体制の強化等の技術的対策を進めるとともに、全職員に対するセキュリティ教育を継続して実施し、再発防止に努めてまいります。

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

【問合せ先】
日本化粧品工業会　東京本部　事務局
MAIL：jcia-honbu@jcia.org